

# <日本史探究⑧> 弥生時代② 教科書: P.14~P.15

## 4 水稻耕作の内容

① 弥生時代前期は、水はけの悪い<sup>でいしょち</sup>低湿地につくられた(23. )が中心で、生産性は低かった。中・後期になると、灌漑・排水用の水路を設けた生産性の高い(24. )がつくられるようになった。

(1) 弥生時代前期から中期・後期にかけて水田はどうなった？

( ) → ( )


② 耕作の農具は(25. )の<sup>くわ</sup>鋤や<sup>すき</sup>鋤が用いられ、(26. )で<sup>おこ</sup>籾を水田に直接播き、稲が実ると(27. )で(28. )を行った。

※(26. ): 田植えをせずに直接水田に種子[種籾]をまく方法。

(1) 弥生時代前期、農耕道具の原料は主に何だったか？

( )

(2) 次の農具の名称を答えよう。(④はその使用例)


①  ( ) ②  ( ) ③  ( ) ④  ( )

③ 木製農具の製作には(29. )や<sup>やり</sup>斧・<sup>な</sup>鉋・<sup>とうす</sup>刀子[小刀]などの(30. )工具が使われた。後期には刃先に(31. )をつけた鋤や鋤、(32. )などの(33. )が使われるようになり、生産性を高めた。32は収穫の際の(34. )で使われた。

(1) 木製農具の製作に何が使われたか？ 2つ答えよう。

( )・( )の工具

(2) 弥生後期には農耕道具に何が使われるようになった？ ( )

④ 収穫された稲は<sup>ほたてばら</sup>掘立柱の(35. )や<sup>ちざうけつ</sup>貯蔵穴に<sup>たくわ</sup>蓄えられ、食べる時には(36. )と(37. )を使って脱穀した。 

(1) 収穫された稲はどこに保存されたか？

( )

(2) 弥生時代、穀物の脱穀に使われたのは？

( )と( )